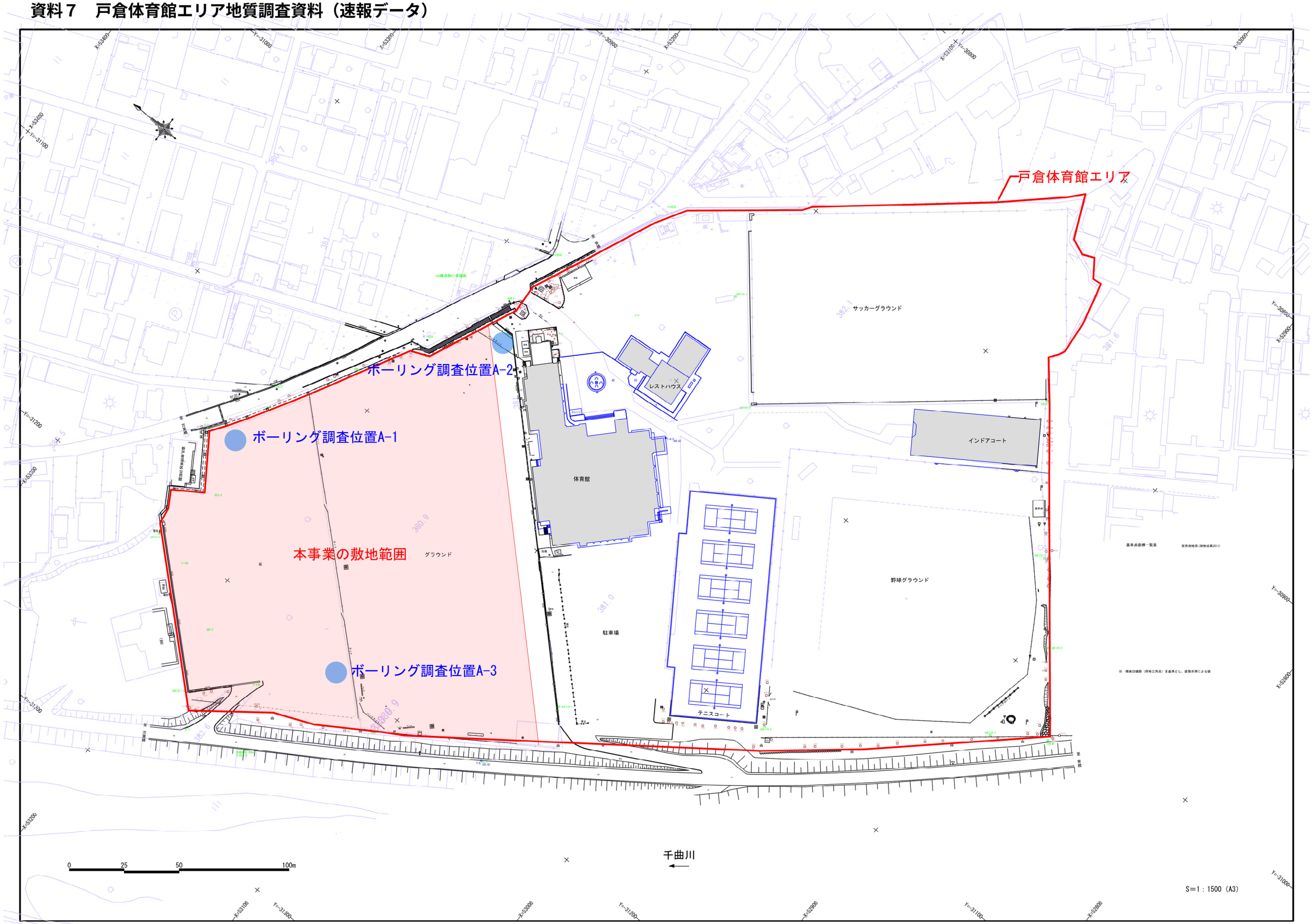
資料７　戸倉体育館エリア地質調査資料（速報データ）



調査位置図

ボーリング柱状図

調　査　名　令和5年度　戸倉体育館地質調査業務

事業・工事名　※仮柱状図です(記載事項につきましては修正することもあります)

ボーリングNo												

シートNo

ボーリング名	A－1	調査位置	長野県千曲市磯部1406－1									北緯	36° 28' 40.0"		
発注機関	千曲市　企画政策部　公民共創推進室　新戸倉体育館建設係					調査期間	2024年 6月 6日 ～ 2024年 6月 10日					東経	138° 9' 14.0"		
調査業者名	株式会社　東洋コンサルタント 電話（026－261－0315）	主任技師	田嶋　正人			現場代理人	田嶋　正人	コア鑑定者	長崎　良彦			ボーリング責任者	吉野　晃弘		
孔口標高	KBM －0.18m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	KANO　KR－50		ハンマー落下用具	半自動落下装置		
総掘進長	8.38m								エンジン	ヤンマー　NFD－9K		ポンプ	V－5		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1					埋土	茶灰			0.00～0.20m　硬く転圧された砂利・砕石・玉石混入 0.20m以深　玉石・礫・ガラ混じりの粘土質粗砂の埋土 0.60m付近　φ100mm程の木片採取 0.90～1.00mにかけ鉄筋コンクリート混入	6/7 0.95	1.15	1／15	1／5	1	3／30	3						
	−1.98	1.80	1.80								1.45												
2					玉石混じり砂礫	褐灰	非常に密な				2.15	25	20	15／8	60／28	64							
3									2.00m含水中位 3.00m以深含水やや多い　マトリックスは細中砂主体 2.45m以深φ50～100mm位の非常に硬質な礫・玉石が連続して密集 所々φ30～50mm位のチャート混入		2.43 3.15	25	35／9		60／19	95			3.15 3.34	1-P-1	Ⓟ		
4											3.34 4.15	30	27	3／1	60／21	86							
5										6/11 5.40	4.36 5.00	60／1			60／1	1800							6／6
	−6.18	4.20	6.00								5.01 6.15	60／5			60／5		6.00	現場透水試験 （別孔）					
6					粘土混じり玉石混じり砂礫	褐灰～黄灰～褐～灰	非常に密な		含水やや多い　マトリックスは粘土混じりの細中砂 平均礫径φ5～40mm位 玉石はφ50～100mm位の非常に硬質な亜円礫混入 6.55m付近給圧をかけ掘削するとやや逃水 7.65m～7.95mにかけ礫音減少 薄層に礫混じり細砂を挟む		6.20 7.10	60／3			60／3	360	6.50						
7											7.13 8.15	15	17	28／3	60／23	600							6／7
8	−8.56	2.38	8.38								8.38					78							

ボーリング柱状図

調　査　名　令和5年度　戸倉体育館地質調査業務

事業・工事名　※仮柱状図です(記載事項につきましては修正することもあります)

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	A－2	調査位置	長野県千曲市磯部1406－1					北緯	36° 28’ 39.1″		
発注機関	千曲市　企画政策部　公民共創推進室　新戸倉体育館建設係			調査期間	2024年 6月 3日 ～ 2024年 6月 5日			東経	138° 9’ 15.4″		
調査業者名	株式会社　東洋コンサルタント 電話（026－261－0315）	主任技師	田嶋　正人	現場代理人	田嶋　正人	コア鑑定者	長崎　良彦	ボーリング責任者	吉野　晃弘		
孔口標高	KBM −0.62m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	KANO　KR－50	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	13.29m								エンジン	ヤンマー　NFD－9K	ポンプ	V－5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1									0.00～0.40m　φ50mm～φ250mm位の玉石密集 0.40～0.55m　礫混じり粘土質細砂 0.55～1.00m　細砂 1.00～1.20m　礫混じりシルト 1.20m以深砂とシルトの互層状	6/5 1.15	1.00	0／20	2／15	2	4／45	3							
2	−2.62	2.00	2.00		埋土	暗茶灰～茶灰～暗灰～褐灰					1.45 2.15	60／7			60／7	257							
3					玉石混じり砂礫	褐灰	非常に密な		含水中位　マトリックスは細中砂主体 平均礫径φ10～60mm位の亜円礫混入 所々φ60～100mm位の玉石連続して密集　礫質硬質 2.20m付近および2.80m付近コア長φ100mm程の短柱状コア採取 2.20m付近および3.50～3.80m付近著しく逸水		2.22 3.15	26	19	14	59／30	59							
4	−5.52	2.90	4.90								3.45 4.00	60／3			60／3	600							6／3
5					礫混じり細砂	褐灰	密な		含水中位　φ20～40mm程の円礫・亜円礫混入 5.40～5.70m付近　所々礫密集し部分的に砂礫状を呈する		4.03 5.15	11	22	15	48／30	48	5.15 5.45	2-P-1	Ⓟ					
6	−6.82	1.30	6.20								5.45 6.15	19	15	13	47／30	47							
	−7.42	0.60	6.80		玉石混じり砂礫	茶灰	密な		マトリックスは粗砂主体 φ2～40mm位の亜円・亜角礫混入 6.50m付近　φ110mm玉石採取		6.45 7.15	13	9	11	33／30	33							
7											7.45 8.15	11	9	11	31／30	31	8.15 8.45	2-P-2	Ⓟ				
8					砂礫	茶灰	密な		含水多い　マトリックスは粗中砂主体 φ2～50mm位の亜円・亜角礫主体 所々φ80mm程の非常に硬質な玉石点在 6.80m付近および8.80m付近全逸水		8.45 9.15	11	14	18	43／30	43							6／4
9											9.45 10.15	18	17	25／9	60／29	62							
10	−10.62	3.20	10.00								10.44 11.15	2	3	17	22／30	22	11.15 11.45	2-P-3	Ⓟ				
11					粘土混じり砂礫	暗茶灰			含水多い～やや多い マトリックスは粘土混じりの細砂主体 平均礫径φ5～35mm位の亜円礫主体 所々φ50～80mm位の非常に硬質な玉石を挟む 11.75m付近　φ70mm程の短柱状コア採取 11.00m上部　含水の多い礫混じり粘土質細砂を薄層に挟む		11.45 12.15	31	23	6／2	60／22	82							
12											12.37 13.15	37	23／4		60／14	129							6／5
13	−13.91	3.29	13.29								13.29												

ボーリング柱状図

調　査　名　令和5年度　戸倉体育館地質調査業務

ボーリングNo

事業・工事名　※仮柱状図です(記載事項につきましては修正することもあります)

シートNo

ボーリング名	A－3	調査位置	長野県千曲市磯部1406－1						北緯	36° 28’ 38.0″	
発注機関	千曲市　企画政策部　公民共創推進室　新戸倉体育館建設係			調査期間	2024年 6月 11日 ～ 2024年 6月 14日				東経	138° 9’ 10.0″	
調査業者名	株式会社　東洋コンサルタント 電話（026－261－0315）	主任技師	田嶋　正人	現場代理人	田嶋　正人	コア鑑定者	長崎　良彦		ボーリング責任者	吉野　晃弘	
孔口標高	KBM −0.09m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	KANO　KR－50	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	7.45m								エンジン	ヤンマー　NFD－9K	ポンプ	V－5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1					埋土	暗灰			0.00～0.20m付近まで硬く転圧された砂利・砕石の埋土 0.20m以深　砕石・玉石混じりの粘土質砂礫の埋土 所々粘土分多く混入 硬質な礫・玉石連続して密集 0.65m付近　コア長　φ200mm位の短柱状コア採取	6/13 0.50	1.15	12	6	6	24／30	24							
2	−2.69	2.60	2.60								1.45 2.15	13	9	15	37／30	37							6／11
3					玉石混じり砂礫	褐灰～暗茶褐	非常に密な		含水中位　マトリックスは細中砂 平均礫径φ2～60mm位の亜円礫主体 3.45m以深　硬質な玉石、チャート片等が連続して密集 最大φ120mm位の短柱状コア採取 孔壁やや崩壊気味 4.00～4.30m付近にかけ礫の混入量少なく礫混じり細砂状を呈す 6.00m　含水多く6.50m～6.80mにかけ全逸水 7.00m　ブロック状に粘土を挟み含水中位 所々φ70mm～φ100mm程の玉石を挟む		2.45 3.15	29	31／9		60／19	95			3.15 3.34	3-P-1	Ⓟ		
4											3.34 4.15	15	12	33／7	60／27	67							
5										6/14 4.88	4.42 5.15	60／7			60／7	257							6／12
6											5.22 6.15	35	25／2		60／12	150							
7	−7.54	4.85	7.45								6.27 7.15	15	20	15	50／30	50							6／13
											7.45												